

みずほCustomer Desk Report 2019/12/11 号(As of 2019/12/10)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	108.68 AUD/USD
TKY 9:00AM	108.59	1.1064	120.15	1.3145	0.6826
SYD-NY High	108.76	1.1097	120.68	1.3215	0.6838
SYD-NY Low	108.52	1.1063	120.14	1.3133	0.6800
NY 5:00 PM	108.73	1.1091	120.64	1.3153	0.6811

NY DOW	27,881.72	▲ 27.88	日本2年債	-0.120	0.00bp
NASDAQ	8,616.18	▲ 5.64	日本10年債	-0.020	▲ 1.00bp
S&P	3,132.52	▲ 3.44	米国2年債	1.6527	3.56bp
日経平均	23,410.19	▲ 20.51	米国5年債	1.6851	2.81bp
TOPIX	1,720.77	▲ 1.30	米国10年債	1.8408	2.09bp
シカゴ日経先物	23,450.00	75.00	独10年債	-0.2985	1.00bp
ロンドンFT	7,213.76	▲ 20.14	英10年債	0.7975	3.55bp
DAX	13,070.72	▲ 34.89	豪10年債	1.1290	▲ 3.30bp
ハンセン指数	26,436.62	▲ 58.11	USDJPY 1M Vol	5.18	0.10%
上海総合	2,917.32	2.84	USDJPY 3M Vol	5.75	0.08%
NY金	1,468.10	3.20	USDJPY 6M Vol	6.10	0.03%
WTI	59.24	0.22	USDJPY 1M 25RR	-1.20	Yen Call Over
CRB指数	182.17	0.99	EURJPY 3M Vol	5.96	0.13%
ドルインデックス	97.52	▲ 0.12	EURJPY 6M Vol	6.30	0.01%

東京	東京時間のドル円は108.59レベルでオープン。仲値にかけてドル買いが優勢となり、108.66まで上昇。その後は今週の重要イベントを控えるドル円は小動き。東京時間は上下10銭の値幅に留まり、結局108.61レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.61レベルでオープン。今週のFOMCや米中ヘッドライン待ちの中で小動き。108.52-65の小幅値動きで108.56レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1067レベルでオープン。独12月ZEW期待指数が8か月ぶりにプラス圏に浮上したがユーロ相場への影響は限定的であった。その後、米長期金利が重く推移する中で1.1085まで堅調に推移し1.1076レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3159レベルでオープン。朝方はやや売り優勢で始まり1.3133まで下落するが、今晚公表される英総選挙の最新の議席予想への期待感からかその後は買い戻され、1.3190まで買われ1.3176レベルでNYに渡った。英10月の単月GDPが前年比+0.7%と7年ぶりの低水準となったが影響は限定的であった。(ロンドン・トルフィー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、週後半にFOMC、ECB理事会、英総選挙を控える様子見ムードが広まる中、108.52-108.66の狭いレンジでの推移が続き、108.56レベルでNYオープン。朝方は「米中交渉担当者、12月予定の関税発動見送りを計画」との報道を受けて、ダウ先物の上昇とともに円売りが先行し、108.76まで上昇するが、依然と様子見ムードが強い中、一時的な反応に留まった(なお、先述のヘッドラインが伝わった後、12月の関税を巡り、マルバニー米大統領補佐官代行が「関税発動は貿易協議の状況次第」、外ロ米NEC委員長が「関税発動の可能性はまだ残っている」と述べている)。その後、ユーロ円やポンド円の上昇に連れ高となり、再び108.76までじりじりと上昇する。買い一巡後、108.70近辺で小動きとなり、108.73レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは、独12月ZEW景気期待指数の予想を上回る結果への反応が限定的だった一方、米金利の低下を横目にじりじりと1.1085まで上昇し、1.1076レベルでNYオープン。朝方は1.1080近辺でもみ合い。その後、特設ユーロ買いの材料が見当たらない中、1.1097まで上昇するが、1.1100を上抜け出来ず、反落。その後は1.1090レベルを挟んだ狭いレンジでの推移が続き、結局、1.1091でクロス。

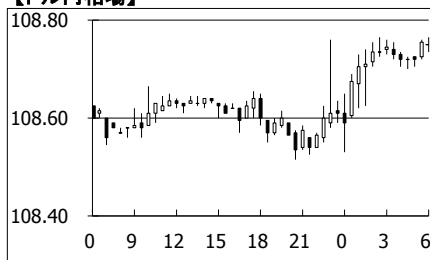
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月10日	09:30	豪 住宅価格指数(前期比/前年比)	3Q 2.4%/-3.7%	1.5%/-4.6%
	09:30	豪 NAB企業景況感	11月 4.0	3.0
	09:30	豪 NAB企業信頼感	11月 0.0	2.0
	10:30	中 CPI(前月比/前年比)	11月 4.5%	4.3%
	10:30	中 PPI(前年比)	11月 -1.4%	-1.5%
	18:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	10月 0.1%/-1.3%	0.2%/-1.2%
	18:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	10月 0.2%/-1.2%	0%/-1.4%
	19:00	独 ZEW調査指数(現状/期待)	12月 -19.9/10.7	-22/0.3
	19:00	欧 ZEW景気期待指数	12月 11.2	-

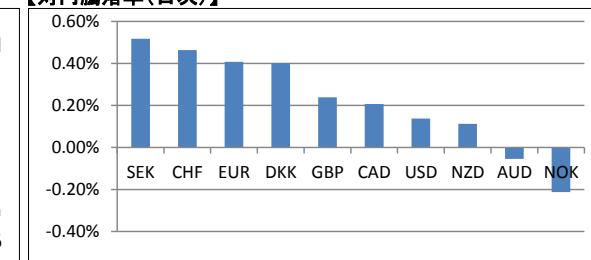
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月11日	08:30	豪 ウェストバンク消費者信頼感指数	12月 -	97
	22:30	米 CPI(前月比/前年比)	11月 0.2%/2%	0.4%/1.8%
12月12日	04:00	米 FOMC政策金利	11-Dec 1.5%-1.75%	1.5%-1.75%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケットインプレッション】 亥(い)固まる

今年のドル円は年初来の値幅が本日時点で8.30円(104.10円-112.40円)。『亥(い)固まる』の相場格言に反さない動きを見た。2019年も残すところ3週間を切った中、このまま108.00円-110.00円近辺のレンジで推移し過去最小値幅となった昨年の9.99円(104.56円-114.55円)を更新すると予想している。レンジ上限レベルである110円が近づくとつれて実需筋の戻り売りも意識されることから110円突破は難しそうだ。一方、15日発動予定の対中関税について、今回の関税対象品目で多くを占める携帯電話やノートパソコン、ゲーム機が中国以外からの輸入といった代替が効きにくく関税発動の場合は消費低迷など米経済にも明確に影響を与えることになるため来年に大統領選を控えるトランプ大統領がそのようなトリガーを引くとは考え難い。最終的には、一部報道でも出ている通り先送りされるものと思われ、リスクオフ進行には至らずレンジ下限レベル108.00円で底堅く推移するのだろう。もちろん、年始のフラッシュクラッシュのような急落には注意が必要ではあるが、今年の経験を活かしてか、オプション市場ではそのような動きへの備えも見られている状況である。よって、この年末年始は今年の年始のような動きにはなりにくいと考えている次第だ。最小値幅の続いたここ2年間であるが、2020年は『子(ね)は繁栄』の相場格言に負けぬ活気ある相場動向に期待したい。(小野崎順基)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア

ブル	ベア
11	9

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。